

2017年9月定例自然観察会実施報告書

六甲山自然案内人の会 4班 山田雄二

1 : 概要

- ① 実施日時 2017年9月10日(日) 午前9時30分～午後2時20分 晴れ
- ② テーマ 須磨ニュータウンの山を歩く
- ③ コース 妙法寺駅～よこおみち～野路菊の丘～奥須磨公園～多井畑～友が丘～名谷駅
- ④ ポイント ニュータウン近くにある自然を体感。ウバメガシ林の中の道、二次林にある昔の炭焼きの跡、野路菊の丘からの眺望、猿田彦神社の境内で守られているウバメガシの大木、多井畑のタイムスリップしたような農村風景、また昔の段々畑や溜池の跡を見て感じる。住宅地のすぐ近くにこのようなところがある事に感動してもらうのが狙い。
- ⑤ 参加者 ビジター50名+会員37名=87名 (会員の内4班員は18名)
参考: 自主研修会(9月3日) 参加会員数43名(内4班15名)
- ⑥ 配布資料 観察会ルートマップ及び植物リスト
- ⑦ 班リーダー ビジター1班 竹上、ビジター2班 枳尾、ビジター3班 坪田(チ)
ビジター4班 長尾、ビジター5班 陽川 会員班は自主観察とした。

2 : 観察記録

- 妙法寺駅横の広場にて9時30分から挨拶開始、班分け、注意事項などの後1班から順次出発する。
- 横尾小学校横の陸橋を渡ったところでクヌギの結実習性(今春受粉した実と昨年受粉した実をゆるドングリの実が共存)やタチバナモドキ、トキワサンザシまたその雑種、クマノミズキの葉の特徴、トウカエデの翼果の形状などを観察する。



妙法寺駅前広場での説明風景



クヌギの説明

- よこおみちに入り同じような形状の葉のシャリンバイ、トベラ、ウバメガシなどの沿岸に分布する樹木を見ながら道沿いの植物を観察。
- ウバメガシの林を通り途中ネズ、ウラジロノキ、マルバアオダモ、アカメガシワなど説明。
- センニンソウの花を見ながら進むと前方の木立の間に明石海峡大橋の景色が広がる。そこから構成種が変わりカゴノキ、カラスザンショウ、コナラ、ヤブツバキなどが見られるようになる。
- ここではカシノナガキイムシの被害について説明、また燃料革命以前に使われていた炭焼き窯の跡を見る。またサネカズラが地表に広がる様子を観察。
- 野路菊の丘では須磨ニュータウンから明石海峡大橋まで広がるパノラマを見る。野路菊の花はまだ先(11月中旬)だが「山、海に行く」に象徴される神戸市の土地開発と住宅地造成の歴史に思いを馳せる。



木立の間に見える明石海峡大橋



野路菊の丘の展望



炭焼窯跡の説明



サネカズラとキベリハムシの説明

- ここからは下りだ。途中ガマ、ヒメガマの比較、カワラヨモギ、オオヒキヨモギなどを観察。
- 道を渡ってベニバナトチノキの街路樹の下を歩く。
- 奥須磨公園に入って水生植物コウホネの名の由来、外来種のナガバオモダカの説明、途中エビヅル、ヒヨドリバナ、センニンソウなど観察。



奥須磨公園の水生植物観察



センニンソウの花

- 1 班は 1 1 時 4 5 分に奥須磨公園の昼食予定場所に到着する。順次到着班は昼食をとる。
- 1 2 時 5 0 分に集合し午後の概要と次回 1 0 月の定例自然観察会（5 班）のチラシ配布を行い、多井畑厄除八幡宮の由緒について長尾氏より説明がある。



奥須磨公園昼食後の集まり



長尾氏による多井畑厄除八幡宮の説明

- 午後 12 時 55 分出発し多井畑厄除八幡宮と道路を隔てて隣にある猿田彦神社に向かう。そこにはウバメガシの大木が境内で守られて龍のように八方に枝を伸ばしている。海岸近くの急斜面に多いウバメガシは通常あまり大きくはなれない。神社の境内だからこそその大木だ。



猿田彦神社のウバメガシ大木

多井畑の農道を歩く

- その後多井畑の集落を越えタイムスリップしたような農村風景の中アキノタムラソウ、ヤマウコギ、ナラガシワなどを観察。この辺りの地層は神戸層群の多井畑累層で昔多くの貝類化石が出土し有名なところだ。マダケにはテングス病が見られる。
- しばらく行くと小川を渡り登り坂になる。この辺りは段々畑が遷移し高木類が侵入している場所や竹の侵入が進んでいる。よく見ると溜池の跡もある。



昔の溜池の跡を観察

名谷駅への途中シナサワグルミの葉を観察

- 坂道を上がると友が丘の住宅街にいきなり出る。ここから 5 分ほど歩き北須磨団地バス停からバスで帰る人と名谷駅まで 20 分歩く人に分かれ流れ解散とした。

3 : 感想

- 事前の下見の時は気温が高く湿度もあり体力の消耗が懸念され北須磨団地からバスで帰る人が多いのではと予想したが 9 月に入り秋の気配が感じられ自主研修会、定例自然観察会共名谷まで歩く人が思いの外多かった。またコースタイムも予定通りで満足な結果となった。
- あまり今まで歩いてないコースを選定したこともビジター数の増加につながったように思う。
- 会員班は自主研修としたが野路菊の丘あたりで須磨ニュータウンや野路菊について別途説明があったほうが良かった。